



デジタルによる地域課題解決を力強く推進！ ～「スマートシティ YAIZU 推進方針」を策定～

本市では、デジタルを活用して地域課題を解決する「スマートシティ YAIZU」の将来像と、それを実現するための施策などをまとめた「スマートシティ YAIZU 推進方針」を策定しました。

この方針は、アンケートやワークショップにより、市民の皆さんや職員など、多くの人の意見を伺いながら、「健康・医療・福祉」「子育て・教育」「生きがい・文化・スポーツ」「産業・観光」「防災・都市・環境」「市民協働・DX・行政運営」の6つの政策分野ごとに施策の方針を定め、重点的に取り組む事項等をまとめたものです。

今回の策定により、本市の主要事業の一つとして部局横断的に取り組んでいるスマートシティ施策の方向性がより明確となりました。今後はこの方針を踏まえ、全体コンセプトとして掲げた「デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしの実現」に向け、取り組みを一層進めていきます。

※詳しくは資料「スマートシティ YAIZU 推進方針概要版」をご覧ください。



▲焼津市が目指すスマートシティの姿をイラストで紹介した「YAIZU CITY Future Vision Map」。市ホームページ等で公開し、市民の皆さんと「スマートシティ YAIZU」のイメージを共有します。

問合せ先

焼津市行政経営部 DX 推進課 スマートシティ推進室 早川・戸田・川村
Tel.054-626-9414 FAX054-626-2183

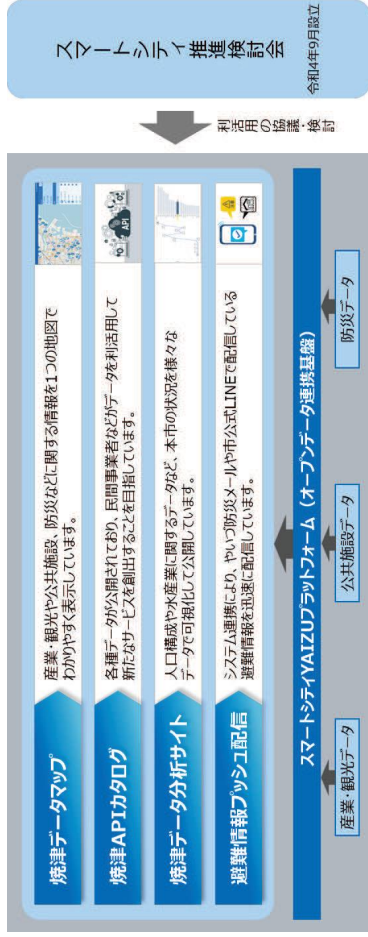
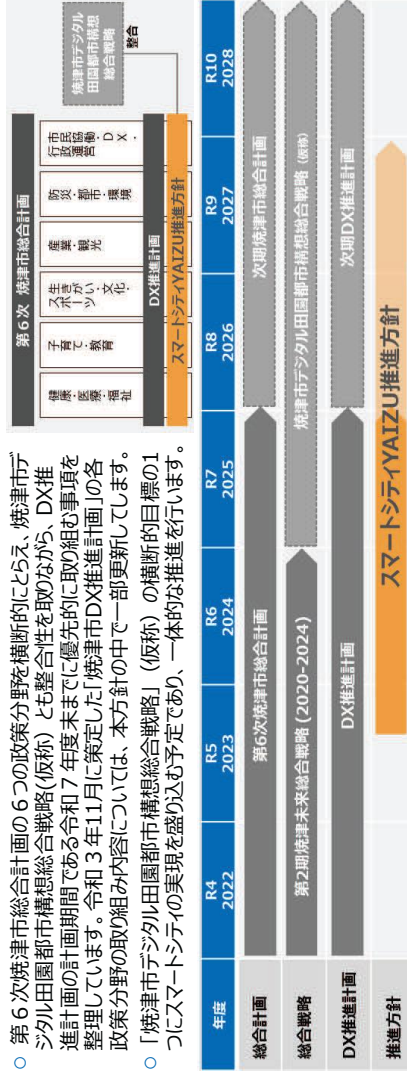
■ 策定の背景と目的

- 焼津市では、令和3年に焼津市DX推進計画を策定し、「デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしの実現」をビジョンに掲げ、スマートシティYAIZUの取り組みを開始しました。
- 令和4年には官民連携の推進組織として、焼津市スマートシティ推進検討会を発足。オープンデータ連携基盤を構築し、データや先端技術を活用した、新たな市民サービスの提供をスタートしています。
- この取り組みを一層進めたいため、焼津の魅力を高め、持続可能なまちとしての「スマートシティYAIZU」の将来像と、それを実現するために必要な考え方や施策をまとめた「スマートシティYAIZU推進方針」を策定します。

■ 位置付け

スマートシティYAIZU推進方針は、「焼津市DX推進計画」のリーディングプロジェクト「官民データ活用組織の構築」の具体的な取り組みを示すものです。

- 第6次焼津市総合計画の6つの政策分野を横断的にとらえ、焼津市デジタル田園都市構想総合戦略(仮称)とも整合性を取らなから、DX推進計画の計画期間である令和7年度末までに優先的に取り組む事項を整理しています。令和3年11月に策定した「焼津市DX推進計画」の各政策分野の取り組み内容については、本方針の中で一部更新しています。
- 「焼津市デジタル田園都市構想総合戦略」(仮称)の横断的目標の1つにスマートシティの実現を盛り込む予定であり、一体的な推進を行います。



■ スマートシティYAIZUのこれまでの取り組み

- スマートシティYAIZUでは、地域課題の解決や新たな価値・サービスの創出による市民のWell-Being向上を目指し、ICTなどの新しい技術やデータを活用し、市民の生活をより便利で快適にする取り組みを推進しています。またこれまでスマートシティYAIZUプラットフォーム(オープンデータ連携基盤)で収集した産業や観光、防災のデータを活用し、4つのサービスをリリースしました。さらに、スマートシティ推進検討会を立ち上げ、データ活用について協議を進めています。

■ 基本理念・基本原則

- スマートシティYAIZUの実現に向けて、3つの基本理念と5つの基本原則に基づき、各取り組みを進めます。

基本理念

市民中心

- 市民サービスを利用する市民の目線での取り組みとして、市民の幸福度(Well-being)の向上に繋がる取り組みを目指します。

課題解決・ビジョン実現

- 新技術のみではなく、本課題解決やビジョンの実現を重視した取り組みを進めます。

組織・分野横断

- 組織・分野の枠を超えたデータ連携や取り組みに挑戦し、市の課題にマッチした全体最適なまちづくりを目指します。

公平性・包摂性確保

- 必要としているすべての市民がサービスを享受でき、さまざまな主体が参加可能なスマートシティの実現を目指します。

プライバシー確保

- データの利活用にあたっては、市民の皆様のプライバシー保護に十分な配慮を行います。

相互運用性 透明性確保

- 他地域や他システムとの相互運用機能を持たせ、オープンなデータ流通環境を構築します。
- 意思決定プロセスの透明性を高めます。

安心・安全、強靭

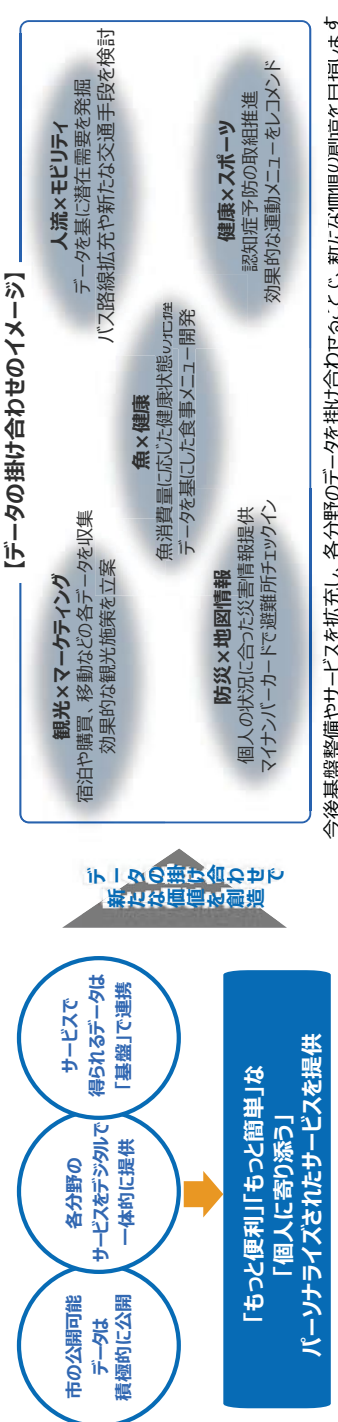
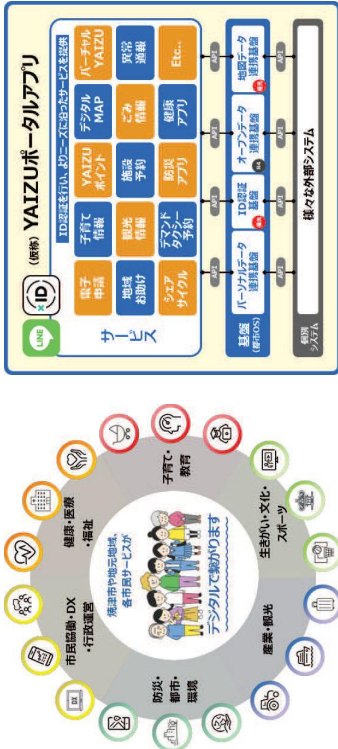
- 各システムや提供サービスの安全性を確保します。
- 災害等の非常事態における継続性や回復性を確保します。

持続可能性

- 新たなサービスや事業の立ち上げにあたっては、運営面・資金面での持続可能性を確保し、地域に根差したスマートシティの実現を目指します。

■ スマートシティYAIZUが目指すサービスのあり方

- 焼津市で展開される各サービスを集約した市民ポータルを構築を目指します。全てのサービスが共通IDで利用でき、個人のニーズに沿った情報が配信され、市民の利便性が向上します。



今後基盤整備やサービスを拡充し、各分野のデータを掛け合わせること、新たな価値の創出を日進月歩

コンセプト・施策方針・個別施策

全体コンセプト

“デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしの実現”

政策分野別コンセプト

「スマートシティYAIZU」を目指す〇〇なまち」

共通する取り組み

- ◎ データ連携・活用
- ◎ デジタル人材の育成
- ◎ 人にやさしいデジタル

個別施策

各政策分野ごとに方針と個別施策を設定

(1) 健康・医療・福祉

だれもがカンタンにつながる、健康ですごせるまち

- ① AIやバーチャルデータを活用した市民の健康づくり支援
- 1. 健康管理アプリ **重点**
- ② 社会的孤立や健康不安解消のための「つながる」仕組みづくり
- 1. オンライン健康相談の充実
- 2. マatchingサービス（交流、共助、ボランティア）導入検討
- ③ 高齢者や助けが必要な方をデジタルで見守る新たな取り組みの実施
- 1. 新たな高齢者見守りサービス導入

(2) 子育て・教育

焼津で育つことに安心と誇りを持てるまち

- ① GIGAスクール構想実現に向けた学習環境整備
- 1. Wi-Fi環境整備拡充
- 2. デジタル学習の拡充 **重点**
- ② 安心して子育て・教育ができる連絡相談手段のオンライン化
- 1. 学校保護者間のオンライン連絡ツール統一 **重点**
- 2. オンライン相談の拡充
- 3. オンライン手続き拡充、子育て関連通知の個別配信
- 4. Matchingサービス導入検討

(3) 生きがい・文化・スポーツ

デジタルを活用して生きがい交流できる楽しいまち

- ① 生きがいづくりや交流につながる焼津ならではのオンラインコンテンツの充実
- 1. オンライン講座の充実 **重点**
- 2. デジタルアーカイブ導入
- 3. VR/デジタル空間の活用
- ② 社会参加型の生きがいMatchingサービスの実施
- 1. マatchingサービスの導入検討 **重点**
- ③ デジタル活用をサポートする地域デジタルステーションの設置
- 1. 地域交流センターへのデジタル機器等導入
- ④ 対面交流を促進する文化・スポーツ施設の利便性向上
- 1. 施設予約の利便性向上

(4) 産業・観光

にぎわいがある豊かな地域産業のまち

- ① デジタルを活用した焼津ならではの特産品販売や体験コンテンツの提供
- 1. 体験型コンテンツの拡充
- 2. 焼津イベントカレンダーの公開
- 3. VR/デジタル空間の活用
- ② 各施設を結び快適に移動できる交通サービスの充実
- 1. 次世代型地域交通の検討・導入・運用
- ③ 新規事業・イノベーションの創出やそれを可能にするプラットフォームづくり
- 1. ビジネスマッチング・企業間交流・スタートアップ支援の推進
- ④ 産業分野におけるデジタル活用による更なる推進
- 1. スマート水産業の推進 **重点**
- 2. スマート農業の推進 **重点**
- 3. 民間企業のDX・人材育成支援

(5) 防災・都市・環境

人と人とながら未来を創造し続けるまち

- ① デジタルを活用した防災・減災対策の高度化、災害予測の高精度化
- 1. 避難所等チェックイン・安否確認 **重点**
- 2. 被災者支援システム更新 **重点**
- 3. AI・データを活用した高度な災害予測 **重点**
- ② 地図データ基盤整備によるまちの可視化
- 1. 統合型GIS **重点**
- ③ 市民の足となるシェアサイクルや自動運転バスなど交通手段の拡大
- 1. くるみ号（ダイヤモンド型乗合タクシー）の拡充検討・実施
- 2. 次世代型地域交通の検討・導入・運用
- ④ データ駆動型のまちづくりや環境負荷低減施策の実施
- 1. 人流・交通量データの活用検討・データ取得・利活用
- 2. AIを活用した道路異常や河川氾濫検知
- 3. AIを活用したごみ分別支援
- 4. ごみ集積所のデジタル管理推進

(6) 市民協働・DX・行政運営

一人ひとりが幸せを感じるまち

- ① 市役所内の業務最適化・連携強化による市民サービスの向上 **重点**
- 1. ノーコードツール、生成AIの業務での活用推進 **重点**
- 2. 業務用スマホ・チャット導入
- 3. 書かないワンストップ窓口導入
- ② オンライン手続きの拡充
- 1. 電子申請の拡充
- ③ 個人や地域に最適化した情報発信
- 1. 個人死情報のアプジュ通知、チャットボットの利活用
- 2. 多言語翻訳サービスの拡充
- 3. デジタル回覧板等デジタル技術活用についての地元への情報提供
- ④ 対面とデジタルの「ハイブリッド型」の市民協働推進
- 1. 市民参加オンラインツールの活用

地域幸福度 (Well-being) 向上に繋がるスマートシティを目指して

- 焼津市では地域幸福度 (Well-being) 指標アンケートを定期実施しています。今後も本指標を活用し、市民の暮らしや「幸福度」をモニタリングしていきます。得られた結果は、施策の立案やサービス改善に活用し、より効果的な施策の展開を目指します。
- ※ 地域幸福度 (Well-Being) 指標とは
客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福度 (Well-being)」を指標で数値化・可視化したものです。数値化・可視化することで、自治体が個性を磨く機会を創出し、データ根拠に基づいた政策立案・検証を推進します

① 調査 市民の幸福度を高めるための施策の推進
② 因子の抽出 市民の幸福度を高めるための施策の推進
③ スターターの可視化 市民の幸福度を高めるための施策の推進
④ チェックリスト 市民の幸福度を高めるための施策の推進
⑤ 施策の決定 市民の幸福度を高めるための施策の推進
⑥ モニタリング 市民の幸福度を高めるための施策の推進
⑦ 6つの手順に手順に沿って指標を活用

Smart City Institute Japanで公開されているタスクボード「令和5年度版（全国調査／個別調査）」から本市のWell-Being指標を分析、各家限の7つの因子から政策分野別の重点施策を決定、デジタルによる、豊かで快適な新しい暮らしを、地域幸福度の実現を目指します。

(参考) R5年度 焼津市Well-beingアンケート結果 全国調査結果

因子	健康状態	子育て	地域	幸福度の実現
① 健康状態	健康状態	子育て	地域	幸福度の実現
② 子育て	健康状態	子育て	地域	幸福度の実現
③ 地域	健康状態	子育て	地域	幸福度の実現
④ 幸福度の実現	健康状態	子育て	地域	幸福度の実現

- (1) 健康・医療・福祉
・健康管理アプリの導入
- (2) 子育て・教育
・デジタル学習の拡充 (GIGAスクール・AI活用)
・学校保護者間のオンライン連絡ツール統一
- (3) 生きがい・文化・スポーツ
・オンライン講座の充実
・マッチングサービスの導入検討
- (4) 産業・観光
・スマート水産業の推進
・スマート農業の推進
- (5) 防災・都市・環境
・避難所等チェックイン・安否確認
・AI・データを活用した高度な災害予測
・統合型GISによるまちの可視化
- (6) 市民協働・DX・行政運営
・ノーコードツール、生成AIの業務での活用推進

推進体制

- 本市の課題解決を目的としたサービス実装を一層進めるため、スマートシティYAIZU推進検討会の体制を構築し、市内の民間事業者を会員とした「スマートシティYAIZU推進協議会」の設立を目指します。

総会
スマートシティYAIZU推進協議会 (体制イメージ)
運営委員会
事業者 (会員から選出)
焼津市
ワーキンググループ (WG, PJ, ...)
プロジェクト (PJ, ...)

課題解決に協力する事業者

市民
アンケート
ワーキンググループ
プロジェクト
実践検討
事業推進